

## 新年明けましておめでとうございます

**市長** 今回の新春対談は、ハローキティにあえる夢の館、サンリオピューロランド(以下、ピューロランド)にお邪魔し、館長の小巻亜矢さんにお話をお聞きします。

多摩センター親善大使であり、成人式や盆踊り、イルミネーションなど多摩市の四季のイベントに登場いただいているハローキティに親しみを感じている方も多いのではないのでしょうか。市民にとっても、多摩市にとってもなくてはならない存在のピューロランドは、今年で開館から33年を迎えます。

改めて、これまで共に歩んできた感想をお聞かせください。

**小巻** 多摩市にサンリオの世界観を体感できるテーマパークをオープンできたことは、改めてありがたいことだと思っています。

気が付けば33年。平成は災害も多くあり、価値観の変化が大きい時代でもありました。令和に入り、新型コロナの流行があってもピューロランドが存在し続けていられるのは、地元の皆様のご協力あってのことです。これからも、**健幸都市**の実現ということも含めて、ハローキティと一緒に協力できればと思っています。

**市長** 多摩市の子どもたちは、サンリオエンターテイメントさんに協力いただいている「COCOROカード」を身近に置いています。このカードには、いじめや人間関係に悩んだ時の相談先や連絡先が書いてあり、子どもたちの支えになっています。年に1回、ピューロランドに入ることができる特典もあるので、自分の学校がいつピューロランドに行けるのか、みんな楽しみにしているそうです。

**小巻** 多くの子どもたちにピューロランドに来てもらい、これから長くファンになってもらうことは私たちの願いです。「COCOROカード」を通して、ピューロランドに親しみを感じてくれると嬉しいです。

子どもたちが成長し、子育て世代になった時に、彼らの子どもたちにもハローキティに親しみを持ってもらいたいですし、多摩市が心も体も健やかに過ごせる、ウェルビーイング(幸福で肉体的・精神的・社会的すべてにおいて満たされた状態。あるいは幸福度のことを)を実現できるまちであってほしいと思います。



### —— コロナ禍だから気付けたこと

**市長** 一時期は来場者数が落ち込んでいたピューロランドですが、小巻館長が就任してからV字回復されました。笑顔とモチベーションを引き出す人づくりも大きな話題になっています。

一方で、新型コロナの感染拡大が始まってからは、ピューロランドも休館を余儀なくされるなど、大変なこともありました。この間に取り組まれたことや意識の変化などを教えてください。

**小巻** 新型コロナの感染拡大は、想定外のネガティブな出来事でした。ピューロランドも2020年に5カ月近く休館しましたが、だからこそ気付く



## 「カワイイ」のちからで、

こともたくさんありました。

地元の方が、ピューロランドの外観をスケッチしたものを届けてくれたことがありました。「ピューロランドがあるからこのまちが好き」というメッセージもたくさんいただき、愛されている、支えられているということを改めて感じました。

一方で、ビジネスとしては大変厳しい状況でしたが、コロナ禍だからこそできることは何か、たくさんの人たちに笑顔になっていただくためには何ができるのかを社員一同で考えました。また、未来に向けて、ピューロランドで子どもたちが何か学べたり、「みんななかよく」という私たちの理念を感じてもらったりできるようなサービスやコンテンツの必要性にも気付かされました。

こうしたたくさんの気付きと、未来に向けてのいろいろな扉が開いた期間でした。

**市長** この対談前に、私もピューロランドに遊びに行きました。コロナ禍で人数制限はあるけれど、自分の好きなキャラクターに会えて、写真が撮れて、距離を取りながらも交流できるのは、ファンにとってはまさに夢の館ですね。コロナ前は館内で行われていたパレードも、今はイルミネーションやレーザーで美しい光景を見てもらうようになっているなどいろいろな工夫もされていました。

**小巻** コロナ前は、来場者でひしめきあっている、そうした活気がある場面も魅力の一つでした。コロナ禍では、なるべく密にならないよう演じる側の位置を工夫したり、来場しなくても楽しめるようオンラインでの楽しみ方を融合した「Nakayoku Connect」というショーを始めたりしました。昨今の国際状況に対しても、「みんななかよく」というメッセージをより強く届けなければと思っています。

**市長** 渡航緩和で多くの外国の方が再び訪れるこ

とができるようになりました。一方で、ロシアが一方的にウクライナに侵攻するという許しがたい戦争も起こっています。ピューロランドは、来場した世界中の人たちが、人種や皮膚の色・宗教・国境をこえて、「みんななかよく」ハッピーで幸福を感じることができる館であり続けてほしいです。

**小巻** テーマパークの使命として、来てくれた人が楽しい思い出を作り、「なかよく」なって帰っていただくことを大切にしています。

実際に来られなくても、いろいろな発信を通して「みんななかよく」というメッセージを受け取っていただき、いつか多摩市にあるピューロランドにリアルな体験をしに来たいと思っていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

### —— 幸せで人を動かす

**市長** 先ほどウェルビーイングの話もありましたが、多摩市も健幸まちづくりを掲げ、誰もが心も体も健康で、幸福度が高いまちを目指しています。2017年3月には市民の皆さんと一緒に健幸都市宣言を行いました。

サンリオエンターテイメントさんも「幸せで人を動かす」ということを意識されていますが、幸福度が新時代のマーケティング指標にもなっていますね。

**小巻** 私たちは何のために生まれて生きているのかということ、やはり幸せであるために、ということと言えると思います。一方で、企業の事業活動は利益優先でそれも大切なことです。より長く滞在いただき、より多くのお金を使っていただけサービスを提供に引き続き重点を置きつつも、一番大切なことは、働いている人が笑顔で幸せに働いているかということ。それをベースとした上で、財務的な利益と、お客様に温かい気持ちになって